年間授業計画 様式例

高等学校 令和８年度（１学年用） 教科　芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：　　（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）（ 組：　　）

使用教科書：（ 美術１ 日本文教出版 ）

教科 芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する様々な技法について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫し、芸術のよさや美しさを深く味わい鑑賞できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点について理解を深め、技法を習得し、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、創意工夫、主題を生成し創造的に構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	単元　選挙ポスターのデザイン 【知識及び技能】 ポスターによる視覚的効果について理解を深め、意図に応じて配置や配色を工夫して個性豊かに表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対し主題を生成し、配色の効果を活かしたポスターの構想を練ったり表現したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に主題を生成し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	○指導事項 ・ポスターの特性について学ぶ。 ・図と文字の配置による視覚的効果を知る。 ・配色による効果を知る。 ○教材 ・教科書 ・ワークシート ・色鉛筆 ・アクリルガッシュ絵具 ・配色カード ・画用紙 ○ICTの活用 ・プロジェクター ・個人端末による検索等図案を描く際に活用	○	○		○	【知識及び技能】 ポスターによる視覚的効果について理解を深め、意図に応じて配置や配色を工夫して個性豊かに表現したか。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマに対し主題を生成し、配色の効果を活かしたポスターの構想を練ったり表現したか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に主題を生成し、表現を工夫をし、造形的な見方・考え方を身に付けようとしたか。	○	○	○	26
2学期	単元　牛乳パックのパッケージデザイン 【知識及び技能】 パッケージデザインについて理解を深め、消費者の立場に立ち、意図に応じたデザインを工夫して表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 パッケージデザインのよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考え、創造的に発想し構想を練り、自己や他者の作品に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対象を観察し、表現を工夫をして造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	○指導事項 ・デザインの発想過程について知る。 ・絵具やマスキングの技法を学ぶ。 ・商品名をどのように色や形で表現するか考える。 ・道具の使い方を学び活用する。 ○教材 ・教科書 ・ワークシート ・色鉛筆 ・アクリルガッシュ絵具 ・配色カード ・ケント紙 ○ICTの活用 ・プロジェクター ・個人端末による検索等図案を描く際に活用	○	○		○	【知識及び技能】 パッケージデザインについて理解を深め、表現意図に応じて図案や色彩を工夫して表現したか。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考え主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、消費者の価値意識をもって作品に対する見方や感じ方を深めたりしたか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対象を観察し、表現を工夫をして造形的な見方・考え方を身に付けようとしたか。	○	○	○	30
3学期	単元　画家レポート 【知識及び技能】 既存の画家の表現方法や、色彩感覚に興味を持ち、その制作意図をくみ取り、レポートとして創造的に表現することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 画家の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考え、意図をもって作品に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対象を観察し、表現を工夫をして造形的な見方・考え方を身に付けようとする。	○指導事項 ・画家についてその技法や生涯について学び、他者に伝わるようなデザインでレポートを表現する。 ・絵画表現らしい絵具の扱い方を学ぶ。 ○教材 ・教科書 ・ワークシート ・アクリルガッシュ絵具 ・画用紙 ・カルトン、水張りテープ ○ICTの活用 ・プロジェクター ・個人端末によ画像検索等調べ学習に活用	○	○		○	【知識及び技能】 既存の画家の表現方法や、色彩感覚に興味を持ち、その制作意図をくみ取り、レポートとして創造的に表現することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 画家の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫について考え、意図をもって作品に対する見方や感じ方を深めたりすることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対象を観察し、表現を工夫をして造形的な見方・考え方を身に付けようとしたか。	○	○	○	14 合計 70